

全体事業費 約35億9千万円に

3月5日まちづくり複合施設等整備特別委員会が開催され、施設整備の取り組み状況について説明を受けた。また、3月12日の本会議において、中間報告を行った。

増工となる工事の内容、金額等について説明があった。

増工内容

木工事・基礎コンクリート・防犯カメラ追加工事・公衆WiFiファイ配線工事

増工金額

約9057万円

全体事業費

約35億9000万円



いよいよ完成

質疑

今後の増工等は

〔委員〕 外構工事で想定外の事案が出てくることを除き、今後、変更や増工等はないのか。

〔当局〕 建物は完成するため、建物部分の金額は整理した。外構工事は令和元年度実施であり、想定外の事案が出れば、その中の判断となる。労務単価も上がっており、支出が増える可能性もなくはないと認識しているが、現時点では、この金額で取り組みたい。



最終完成に向け、外構工事もしっかりと。

今後も注視していく

まちづくり複合施設等整備特別委員会・中間報告

◇これまでの経過◇

◆平成27年5月に特別委員会を設置。まちづくり複合施設等整備について、先進地視察、調査、研究等を行った。

◆開催状況

H27年	委員会	7回
H28年	委員会	7回
	視察研修	1回
H29年	委員会	6回
H30年	委員会	5回



H28鶴岡市視察

◇まとめ◇

近年最大の事業であり、町民の関心は高い。人口減少の中、将来負担が少なく、使い勝手のよい施設にしなければならぬ。施設完成後も、旧庁舎及び中央公民館の解体工事、駐車場等の外構工事が予定されている。新荒砥橋の架け替え等も進んでおり、人や車の流れも変わることが予想され、まちづくりが大きく変動すると思われる。第6次白鷹町総合計画の策定等も見据え、今後の展開に議会としても注視するものである。

3月22日第3回臨時議会

◎平成30年度一般会計補正
地域交流商業施設整備工事設計監理等委託
……1200万円

地域交流商業施設整備工事…………… 1億円

事業概要

鮎貝区からの要望を踏まえ、地域づくりの活性化や地域課題の解消等を目的に、四季の郷周辺に地域交流商業施設を整備する。国の平成30年度補正の地方創生拠点整備交付金に採択されたため、予算化するもの。令和2年3月までに完成する予定。

1月31日第1回臨時議会

◎白鷹町役場庁舎等解体工事請負契約の締結
契約の方法 随意契約
契約金額 3億5640万円
契約の相手方 那須・鈴木特定建設工事共同企業体

◎町立小中学校普通・特別教室冷房設備
整備工事請負契約の締結
契約の方法 指名競争入札
契約金額 1億3284万円
契約の相手方 共栄建運株式会社

その他

◎白鷹町まちづくり複合施設什器類の取得
◎町立小中学校電源設備整備工事請負契約の締結
◎消防団活動服の取得
について可決した。